

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H301	アジア経済論	3年	講義	2	田部井信芳
授業概要 成長するアジア経済の現状と成長要因について説明し、今後のアジア経済の動向について考える。さらに、アジア経済と日本経済の関係について説明し、日本企業の経営戦略について考える。また、アジア諸国の社会と文化について説明し、アジアの価値観について考える。					
到達目標(学習の成果) ・アジア諸国の現状及び各国の成長要因について理解することができる。(DP3「問題解決力」) ・アジア経済と日本経済の関係について理解することができる。(DP3「問題解決力」)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	世界経済の現状	世界経済の現状とアジア経済			
2	アジアの地理と歴史	地政学的にアジアについて考える			
3	アジア経済の発展モデル	輸出主導型の経済成長モデル			
4	韓国	韓国経済の特徴と現状			
5	中国(1)	中国の経済発展とその特徴			
6	中国(2)	中国経済の現状と課題			
7	インド	インドにおける経済発展の可能性			
8	シンガポール	アジアにおけるシンガポール経済の役割			
9	タイ	タイ経済の現状と課題			
10	マレーシア	マレーシアにおける経済発展の歴史と特徴			
11	インドネシア	インドネシアにおける経済発展の可能性			
12	アジア経済と日本(1)	アジア諸国と日本経済の関係			
13	アジア経済と日本(2)	アジアにおける日本企業の経済活動			
14	アジアの経済統合	アジアにおける経済統合の可能性			
15	アジア経済の課題	アジア経済の今後の可能性			

準備学修(授業外の自己学修)

- ・講義で指示する経済用語について調べてくること。
- ・新聞やニュースにより、日頃からアジア諸国に関心を持つこと。

成績評価の方法・基準(%表記)

出席・授業態度(30%)

学期末試験(70%)

観点	S	A	B	C
アジア諸国の現状に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
アジア経済と日本企業に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

特に使用しない。資料を配布する。

参考書等

『東アジアの奇跡』世界銀行著、白鳥正喜訳、東洋経済新報社、1993年

『現代中国経済論』加藤弘之、上原一慶編著、ミネルヴァ書房、2011年

履修上の注意・学修支援

質問等がある場合、オフィス・アワーを利用すること。